

《補足説明資料》

(1) 令和2年度補正予算について	【資料1】……………1
-------------------	-------------

《報告事項》

(1) 令和2年度診療状況	【資料2】……………3
(2) 令和2年度収支状況について	【資料3】……………5
(3) 令和2年度 アクションプランについて	【資料4】……………6
(4) 南和広域医療企業団中期計画の評価について	【資料5】……………9
(5) 南和地域の在宅医療・訪問看護体制の強化について	【資料6】……………12
(6) 市町村が実施する一次支援に対する医療面でのサポートについて	【資料7】……………13

令和 2 年度南和広域医療企業団病院事業会計補正予算について

補正予算（第 1 号） 令和 2 年 4 月 2 8 日専決

【収益的収支】

(単位：千円)

	収 入		支 出		備 考
当初予算額	病院事業収益	10,510,154	病院事業費用	10,507,312	
補 正 額	病院事業収益	5,055	病院事業費用	3,752	・経費 3,752 ドライブスルー検査実施経費
					経費を上回る補助金1,303は職員給与費充当分
補正後予算額	病院事業収益	10,515,209	病院事業費用	10,511,064	

【資本的収支】

(単位：千円)

	収 入		支 出		備 考
当初予算額	資本的収入	743,183	資本的支出	832,429	
補 正 額	資本的収入	44,148	資本的支出	44,148	・器械備品購入費 44,148 人工呼吸器、人工心肺等
補正後予算額	資本的収入	787,331	資本的支出	876,577	

補正予算（第 2 号） 令和 2 年 7 月 3 日専決

【収益的収支】

(単位：千円)

	収 入		支 出		備 考
現計予算額	病院事業収益	10,515,209	病院事業費用	10,511,064	
補 正 額	病院事業収益	441,801	病院事業費用	38,180	・給与費 38,180 職員手当（特殊勤務手当）
補正後予算額	病院事業収益	10,957,010	病院事業費用	10,549,244	

補正予算案（第3号）

【収益的収支】

（単位：千円）

		収 入		支 出		備 考	
当初予算額	病院事業収益	10,957,010		病院事業費用	10,549,244		
補正額	病院事業収益	▲179,659	<ul style="list-style-type: none"> ・入院収益 ▲403,621 ・県補助金 59,942 <li style="padding-left: 20px;">院内感染防止等に対する補助 43,300 <li style="padding-left: 20px;">ドライブスルー検査実施に対する補助 16,642 ・その他特別収益 164,020 	病院事業費用	215,772	<ul style="list-style-type: none"> ・経費 51,752 <li style="padding-left: 20px;">感染防止対策経費 <li style="padding-left: 40px;">南奈良 40,000 吉野 1,800 <li style="padding-left: 40px;">五條 1,500 <li style="padding-left: 20px;">ドライブスルー検査実施経費 8,452 ・その他特別損失 164,020 <li style="padding-left: 20px;">新型コロナウイルス感染症対応従事者等慰労金 161,620 <li style="padding-left: 20px;">新型コロナウイルス感染症医療従事者等激励金 2,400 	新型コロナウイルス感染症患者の入院病床確保に対する補助金（第2号で補正分）相当額を入院収益の減額
補正後予算額	病院事業収益	10,777,351		病院事業費用	10,765,016		

【資本的収支】

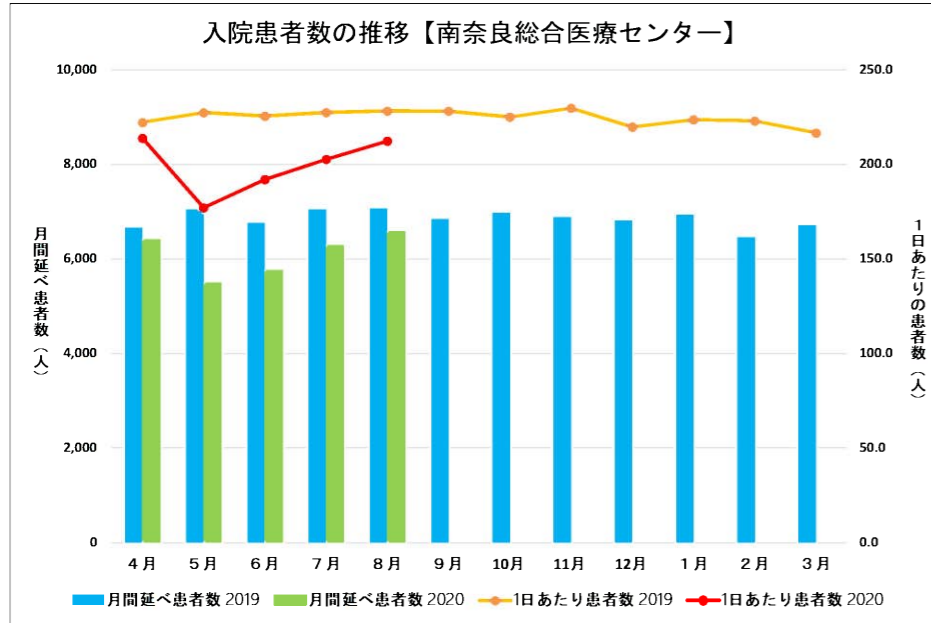
（単位：千円）

		収 入		支 出		備 考	
当初予算額	資本的収入	787,331		資本的支出	876,577		
補正額	資本的収入	50,000	<ul style="list-style-type: none"> ・県補助金 50,000 <li style="padding-left: 20px;">院内感染防止等に対する補助 	資本的支出	50,000	<ul style="list-style-type: none"> ・器械備品購入費 50,000 <li style="padding-left: 20px;">南奈良 40,000 吉野 5,000 <li style="padding-left: 20px;">五條 5,000 	
補正後予算額	資本的収入	837,331		資本的支出	926,577		

令和2年度 診療状況について

1. 南奈良総合医療センター

1-1.入院患者数



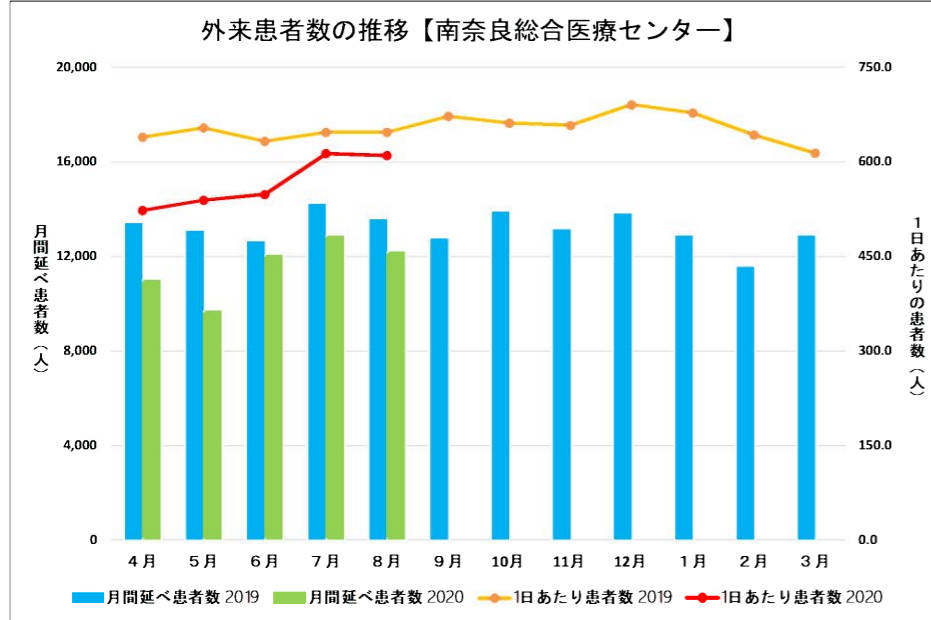
南奈良総合医療センター		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
月間延べ患者数	2019	6,674	7,055	6,773	7,059	7,084	6,853	6,983	6,901	6,822	6,942	6,472	6,724
	2020	6,422	5,496	5,770	6,289	6,592							
1日あたり患者数	2019	222.5	227.6	225.8	227.7	228.5	228.4	225.3	230.0	220.1	223.9	223.2	216.9
	2020	214.1	177.3	192.3	202.9	212.6							

4~8月の累計比較

	2019	2020	増減
延べ患者数(人)	34,645	30,569	-4,076
病床稼働率(%)	97.6	86.1	-11.5
診療単価(円)	50,345	50,188	-157
平均在院日数(日)	13.2	13.2	0.0

病床稼働率は80%台となり、入院患者数は毎月前年を下回る

1-2.外来患者数



南奈良総合医療センター		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
月間延べ患者数	2019	13,435	13,092	12,665	14,238	13,598	12,785	13,907	13,165	13,825	12,886	11,578	12,904
	2020	10,995	9,714	12,074	12,885	12,210							
1日あたり患者数	2019	639.8	654.6	633.3	647.2	647.5	672.9	662.2	658.3	691.3	678.2	643.2	614.5
	2020	523.6	539.7	548.8	613.6	610.5							

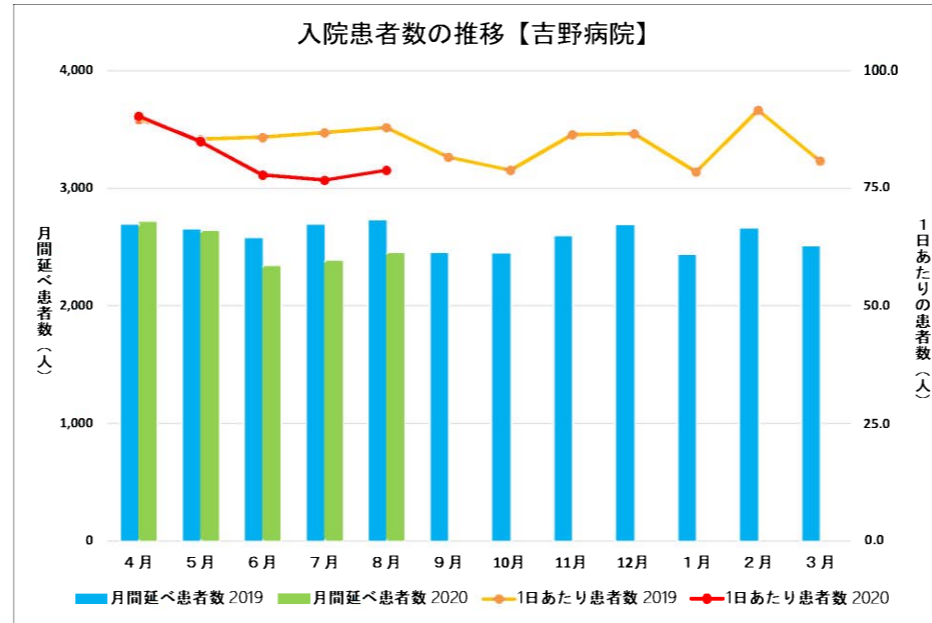
4~8月の累計比較

	2019	2020	増減
延べ患者数(人)	67,028	57,878	-9,150
1日平均(人)	645	567	-78
診療単価(円)	11,549	12,780	1,231

患者数は前年を下回り、診療単価は前年を上回る

2. 吉野病院

2-1.入院患者数



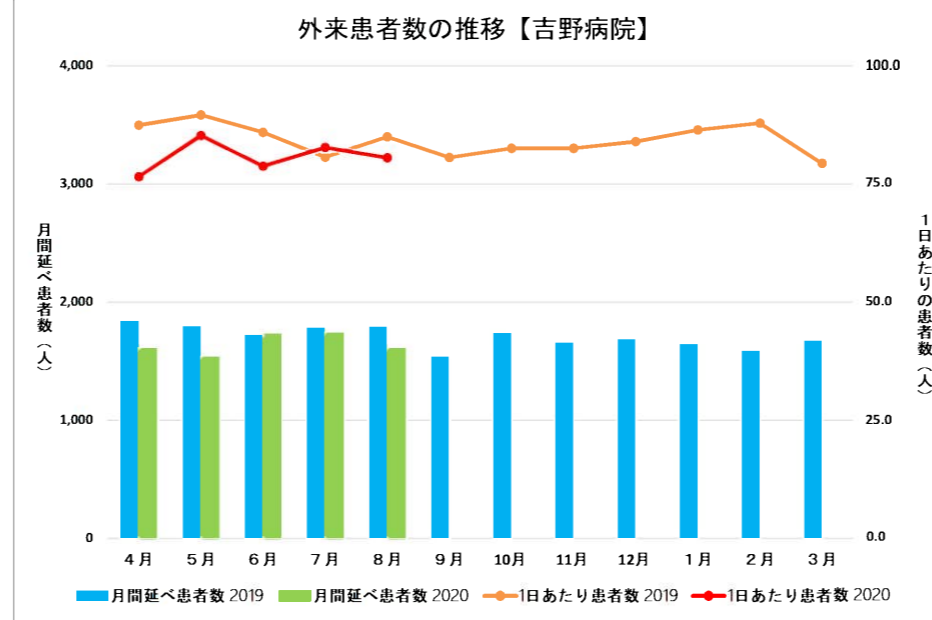
吉野病院		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
月間延べ患者数	2019	2,692	2,649	2,576	2,694	2,728	2,452	2,447	2,595	2,687	2,436	2,659	2,509
	2020	2,713	2,635	2,336	2,381	2,447							
1日あたり患者数	2019	89.7	85.5	85.9	86.9	88.0	81.7	78.9	86.5	86.7	78.6	91.7	80.9
	2020	90.4	85.0	77.9	76.8	78.9							

4~8月の累計比較

	2019	2020	増減
延べ患者数(人)	13,339	12,512	-827
病床稼働率(%)	90.8	85.2	-5.6
診療単価(円)	20,690	21,138	448
平均在院日数(日)	19.7	19.7	0.0

病床稼働率は80%台となり、入院患者数はほぼ毎月前年を下回る

2-2.外来患者数



吉野病院		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
月間延べ患者数	2019	1,835	1,790	1,717	1,777	1,786	1,534	1,734	1,652	1,680	1,641	1,580	1,670
	2020	1,609	1,535	1,733	1,738	1,612							
1日あたり患者数	2019	87.4	89.5	85.9	80.8	85.0	80.7	82.6	82.6	84.0	86.4	87.8	79.5
	2020	76.6	85.3	78.8	82.8	80.6							

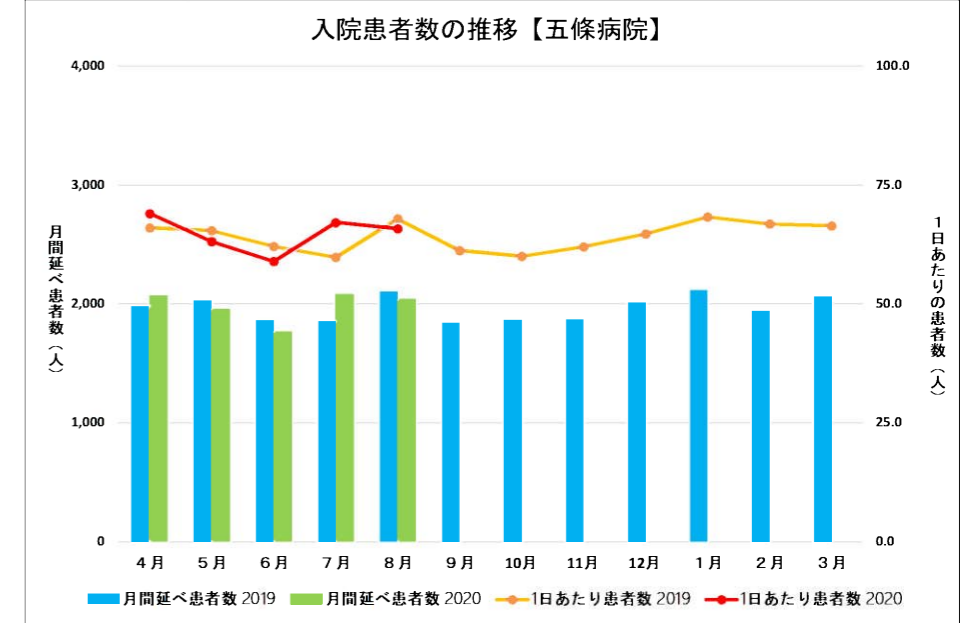
4~8月の累計比較

	2019	2020	増減
延べ患者数(人)	8,905	8,227	-678
1日平均(人)	86	81	-5
診療単価(円)	8,317	8,678	361

患者数は前年を下回り、診療単価は前年より若干上回る

3. 五條病院

3-1.入院患者数



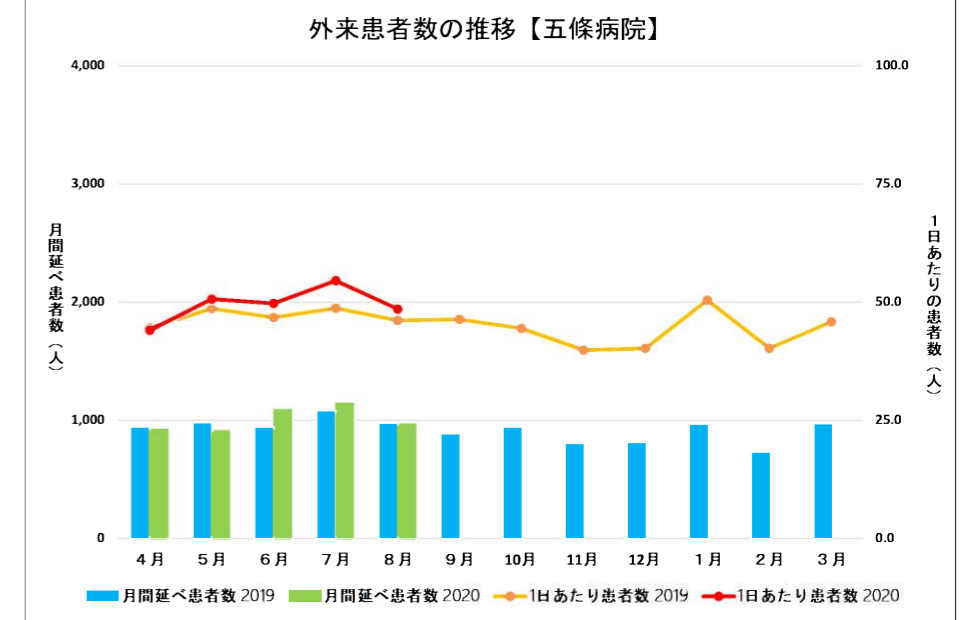
五條病院		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
月間延べ患者数	2019	1,983	2,031	1,865	1,858	2,107	1,838	1,862	1,864	2,009	2,119	1,941	2,061
	2020	2,072	1,958	1,770	2,082	2,042							
1日あたり患者数	2019	66.1	65.5	62.2	59.9	68.0	61.3	60.1	62.1	64.8	68.4	66.9	66.5
	2020	69.1	63.2	59.0	67.2	65.9							

4~8月の累計比較

	2019	2020	増減
延べ患者数(人)	9,844	9,924	80
病床稼働率(%)	90.6	91.4	0.8
診療単価(円)	21,297	21,540	243
平均在院日数(日)	17.5	18.3	0.8

病床稼働率は前年より向上し、入院患者数は前年を上回る

3-2.外来患者数



五條病院		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
月間延べ患者数	2019	937	973	935	1,073	971	882	934	798	805	960	726	964
	2020	927	912	1,095	1,146	971							
1日あたり患者数	2019	44.6	48.7	46.8	48.8	46.2	46.4	44.5	39.9	40.3	50.5	40.3	45.9
	2020	44.1	50.7	49.8	54.6	48.6							

4~8月の累計比較

	2019	2020	増減
延べ患者数(人)	4,889	5,051	162
1日平均(人)	47	50	3
診療単価(円)	8,051	8,427	376

患者数は前年を上回り、診療単価も若干前年を上回る

令和2年度救急搬送状況（令和2年度4月～8月）

救急車搬送患者数 令和2年度4月～8月

※奈良県広域消防組合調べ

			累 計（4～8月）																	
			県広域 消防組合 総搬送数(A)			受 入 れ 医 療 機 関														
						南奈良総合医療センター			奈良医大			橋本市民			その他					
			2019	2020	増減	受入数(B)		収容率(B/A)	救命・ER・外来			2019	2020	増減	2019	2020	増減	2019	2020	増減
奈良県広域消防組合	中吉野	大淀署	484	383	-101	318	263	-55	65.7%	68.7%	64	52	-12	3	1	-2	99	67	-32	
		下市署	157	109	-48	124	76	-48	79.0%	69.7%	15	10	-5	0	0	0	18	23	5	
		黒滝分署	34	29	-5	26	26	0	76.5%	89.7%	4	0	-4	0	0	0	4	3	-1	
		天川分署	56	39	-17	39	31	-8	69.6%	79.5%	4	4	0	0	0	0	13	4	-9	
	五條	五條署	778	703	-75	515	492	-23	66.2%	70.0%	68	64	-4	92	54	-38	103	93	-10	
		大塔分署	36	26	-10	16	11	-5	44.4%	42.3%	0	3	3	1	0	-1	19	12	-7	
		十津川分署	81	76	-5	28	25	-3	34.6%	32.9%	2	3	1	1	1	0	50	47	-3	
		西吉野出張所	71	65	-6	55	43	-12	77.5%	66.2%	2	4	2	2	9	7	12	9	-3	
	吉野	吉野署	335	237	-98	236	162	-74	70.4%	68.4%	25	17	-8	0	0	0	74	58	-16	
		北山分署	58	36	-22	32	11	-21	55.2%	30.6%	0	0	0	0	0	0	26	25	-1	
	野迫川	野迫川分署	11	10	-1	3	6	3	27.3%	60.0%	1	0	-1	4	0	-4	3	4	1	
	南和地域 計		2,101	1,713	-388	1,392	1,146	-246	66.3%	66.9%	185	157	-28	103	65	-38	421	345	-76	
	中和	御所署	735	653	-82	49	72	23	6.7%	11.0%	98	105	7	2	3	1	586	473	-113	
		高市署	437	360	-77	36	22	-14	8.2%	6.1%	89	70	-19	0	0	0	312	268	-44	
	宇陀	宇陀署	892	786	-106	20	19	-1	2.2%	2.4%	90	91	1	0	0	0	782	676	-106	
	その他		15,532	13,595	-1,937	79	82	3	0.5%	0.6%	1,649	1,649	0	0	0	0	13,804	11,864	-1,940	
	県消防 合計		19,697	17,107	-2,590	1,576	1,341	-235	8.0%	7.8%	2,111	2,072	-39	105	68	-37	15,905	13,626	-2,279	
他消防(県外等)					7	6	-1													
総 計					1,583	1,347	-236													

救急患者数 令和2年度4月～8月

	2019年			2020年			増 減		
	南和	南和以外	計	南和	南和以外	計	南和	南和以外	計
救 急 車	1,209	374	1,583	1,078	269	1,347	-131 (-10.8%)	-105 (-28.1%)	-236 (-14.9%)
県ドクターヘリ	43	21	64	25	11	36	-18 (-41.9%)	-10 (-47.6%)	-28 (-43.8%)
防災ヘリ等	0	7	7	0	5	5	0 (0.0%)	-2 (-28.6%)	-2 (-28.6%)
ウォークイン	3,455	589	4,044	2,962	543	3,505	-493 (-14.3%)	-46 (-7.8%)	-539 (-13.3%)
合 計	4,707	991	5,698	4,065	828	4,893	-642 (-13.6%)	-163 (-16.4%)	-805 (-14.1%)
1日平均	30.8	6.5	37.3	26.6	5.4	32.0	-4.2	-1.1	-5.3

※患者の住所地で区分

ドクターヘリ出動・搬送状況 令和2年度4月～8月

出動件数	累計(4～8月)			搬送件数	累計(4～8月)		
	2019	2020	増減		2019	2020	増減
南和保健医療圏	86	58	-28	南奈良総合医療センター	63	36	-27
奈良保健医療圏	7	11	4	対出動件数(キャンセル除く)	34.1%	25.7%	
西和保健医療圏	28	15	-13	南和地域出動受入件数	57	33	
中和保健医療圏	22	20	-2	奈良県立医科大学附属病院	73	66	-7
東和保健医療圏	36	31	-5	奈良県総合医療センター	31	14	-17
県 外	6	5	-1	そ の 他	18	24	6
小 計	185	140	-45	計	185	140	-45
離陸後キャンセル	23	19	-4				
合 計	208	159	-49				

- 救急車の総搬送数及び受入数は前年より減少
- ドクターヘリの出動件数及び搬送件数も前年より減少
- 新型コロナウイルス感染症の影響により、ウォークインの救急患者も前年より減少

令和2年度 南和広域医療企業団 収益的収支状況について

(4月～8月)

(令和2年度4月～8月)

(単位:千円)

	南奈良総合医療センター			吉野病院			五條病院			企業団計		
	令和2年度	令和元年度	増減額	令和2年度	令和元年度	増減額	令和2年度	令和元年度	増減額	令和2年度	令和元年度	増減額
病院事業収益	3,127,662	3,354,173	▲ 226,511	448,838	456,829	▲ 7,991	406,227	371,547	34,680	3,982,727	4,182,549	▲ 199,822
医業収益	2,490,941	2,721,665	▲ 230,724	379,549	395,120	▲ 15,571	285,085	276,960	8,125	3,155,575	3,393,745	▲ 238,170
入院収益	1,534,207	1,744,197	▲ 209,990	264,480	275,987	▲ 11,507	213,763	209,645	4,118	2,012,450	2,229,829	▲ 217,379
外来収益	739,701	774,116	▲ 34,415	71,393	74,066	▲ 2,673	42,564	39,360	3,204	853,658	887,542	▲ 33,884
その他医業収益	79,343	87,927	▲ 8,584	13,876	14,637	▲ 761	6,718	7,530	▲ 812	99,937	110,094	▲ 10,157
県補助金	37,825	15,075	22,750	0	115	▲ 115		115	▲ 115	37,825	15,305	22,520
他会計負担金	99,865	100,350	▲ 485	29,800	30,315	▲ 515	22,040	20,310	1,730	151,705	150,975	730
医業外収益	586,643	582,123	4,520	69,289	61,709	7,580	121,142	94,587	26,555	777,074	738,419	38,655
他会計負担金	141,120	122,535	18,585	39,550	36,230	3,320	27,330	24,640	2,690	208,000	183,405	24,595
長期前受金戻入	431,710	444,075	▲ 12,365	29,515	25,125	4,390	93,360	69,580	23,780	554,585	538,780	15,805
その他医業外収益	13,813	15,513	▲ 1,700	224	354	▲ 130	452	367	85	14,489	16,234	▲ 1,745
看護師養成事業収益	50,078	50,385	▲ 307	0	0	0	0	0	0	50,078	50,385	▲ 307
病院事業費用	3,394,141	3,351,174	42,967	436,186	420,397	15,789	411,290	397,128	14,162	4,241,617	4,168,699	72,918
医業費用	3,292,941	3,259,532	33,409	436,186	420,397	15,789	411,290	397,128	14,162	4,140,417	4,077,057	63,360
給与費	1,643,740	1,557,464	86,276	256,624	251,187	5,437	199,439	195,733	3,706	2,099,803	2,004,384	95,419
材料費	528,466	584,628	▲ 56,162	31,851	31,212	639	25,837	26,617	▲ 780	586,154	642,457	▲ 56,303
経費	672,506	664,726	7,780	116,083	108,198	7,885	90,771	76,210	14,561	879,360	849,134	30,226
減価償却費	444,655	446,665	▲ 2,010	31,605	29,670	1,935	95,235	98,540	▲ 3,305	571,495	574,875	▲ 3,380
研究研修費	3,574	6,049	▲ 2,475	23	130	▲ 107	8	28	▲ 20	3,605	6,207	▲ 2,602
医業外費用	47,760	50,305	▲ 2,545	0	0	0	0	0	0	47,760	50,305	▲ 2,545
うち長期前払消費税償却費	32,235	31,490	745	0	0	0	0	0	0	32,235	31,490	745
看護師養成事業費用	53,440	41,337	12,103	0	0	0	0	0	0	53,440	41,337	12,103
経常損益	▲ 266,479	2,999	▲ 269,478	12,652	36,432	▲ 23,780	▲ 5,063	▲ 25,581	20,518	▲ 258,890	13,850	▲ 272,740
特別利益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特別損失	19	117	▲ 98		12	▲ 12	127	3	124	146	132	14
純損益	▲ 266,498	2,882	▲ 269,380	12,652	36,420	▲ 23,768	▲ 5,190	▲ 25,584	20,394	▲ 259,036	13,718	▲ 272,754
キャッシュフロー	▲ 221,318	36,962	▲ 258,280	14,742	40,965	▲ 26,223	▲ 3,315	3,376	▲ 6,691	▲ 209,891	81,303	▲ 291,194
県借入金返還金	20,995	20,995	0	0	0	0	1,410	1,410	0	22,405	22,405	0
県借入金返還後キャッシュフロー	▲ 242,313	15,967	▲ 258,280	14,742	40,965	▲ 26,223	▲ 4,725	1,966	▲ 6,691	▲ 232,296	58,898	▲ 291,194

1 経営の安定化

① 組織マネジメント力の強化

- ◆ 毎月の収支状況の見える化と幹部職員における情報共有の徹底
- ◆ 幹部職員・中堅職員へのマネジメント研修の実施
- ◆ 経営の安定化に向け、会計アドバイザーの導入による財務業務の体制強化

③ 費用の適正化

- ◆ 診療材料等の在庫管理の強化
 - 過剰在庫、不良在庫をなくす一斉点検の実施
- ◆ 検体検査試薬の適正使用
 - 適正使用による試薬費の削減(前年度実績の5%減)
- ◆ 後発医薬品使用率の向上(90%以上)
 - 前年度実績:【南奈良】90.0%【吉野】80.2%【五條】89.4%
- ◆ 電気料金の削減
 - 電力調達の入札の実施(前年度実績額の7%減)
- ◆ 医療機器保守契約の見直し
 - 点検内容、点検回数等の精査
- ◆ こまめな節減意識の向上
 - 取組目標等を掲示し、意識を徹底
 - 未使用時における消灯や冷暖房の適正温度管理の周知
 - 会議資料をコンパクトにまとめるなど、資料枚数の削減

② 収益の確保

<南奈良総合医療センター>

- ◆ 平均在院日数の短縮(13.0日以内)
 - 緊急入院にも対応した入退院支援による早期の退院・転院調整
 - 転院相談の開始から転院までの日数の短縮
 - クリニカルパスの充実による医療の標準化
 - 地域の医療機関等との連携強化(逆紹介率86.8%→88%以上)
- ◆ 新入院患者の確保
 - 地域医療連携室の医療機関への訪問など前方支援の強化による紹介患者の増加(紹介患者数614人/月→650人/月)
 - 医師・患者向けの広報ツールを活用した積極的な情報発信
- ◆ 在宅医療支援の強化
 - 入院時からの在宅療養への支援
 - 訪問看護ステーションの開設

<吉野・五條病院>

- ◆ 病床稼働率の向上(90%以上(療養病棟については95%以上))
 - 地域医療機関・介護施設等との連携の強化
 - 稼働率向上に向けた病床運用の検討
- ◆ 外来患者の確保
 - 外来診療の充実
 - 【吉野】 整形外科(週4日→週5日)
 - 【五條】 整形外科(週3日→週4日)、皮膚科(週1日→週2日)
- ◆ リハビリ体制の拡充
 - 作業療法を開始
 - 運動器・脳血管・廃用期疾患リハビリテーションの充実

2 働き方改革の推進

- ◆ サポート体制の充実
 - 医師事務作業補助の組織化と資質の向上
- ◆ セクハラ、パワハラ等職員相談窓口「ふくがみのもり」の設置
- ◆ 患者・家族等の協力による患者等面談の勤務時間内での実施

3 専門診療の充実

<南奈良総合医療センター>

- ◆ がん診療の充実
 - 市町村実施のがん検診(肺・胃・大腸など)と連携したがん診療の充実
 - マンモグラフィ検査時の女性放射線技師の対応や画像精度の高い検査装置の導入による乳がん診療の充実
- ◆ 消化器病センターの充実
 - 急性腹症の対応
 - 胆管・膵管鏡システム等の導入による胆管結石診療の充実
- ◆ 糖尿病合併症重症化予防の実施
 - 合併症専門スタッフによるチーム医療の強化
- ◆ 心不全診療の充実
 - 「心不全シグナル」の活用による慢性心不全のマネジメント
 - 遠隔モニタリングシステムの導入による患者の負担軽減
- ◆ 在宅医療の充実
 - 重症不安定患者への訪問診療・看護の介入強化
 - 訪問看護ステーションの開設
- ◆ 高齢患者に対するフレイル(虚弱)、ロコモティブシンドローム(運動器症候群)予防の強化
 - ロコモリハビリの拡充
- ◆ 栄養サポートの充実
 - 入院患者への栄養療法と栄養指導の強化
- ◆ 医療安全の強化
 - 認知症等離棟・離院の危険のある患者の見守りが可能なシステムの導入

<吉野病院>

- ◆ 多職種による誤嚥性肺炎患者の摂食・嚥下療法の強化・充実

<五條病院>

- ◆ 高齢フレイル(虚弱)患者に対する栄養・運動指導の強化
- ◆ がんを中心とした緩和ケアの充実

4 患者サービスの充実

- ◆ 患者安心の向上
 - 安心して入院生活を送れるよう入院前の支援を緊急の入院前にも拡大
 - 血管造影検査など特殊検査を受ける入院患者に対し、放射線技師による検査手順の説明の実施
- ◆ 待ち時間・日数の短縮
 - MRI検査予約枠の効率的な運用による予約待ち日数の短縮
 - 吉野病院内科外来における新規・予約外患者の待ち時間短縮
- ◆ 提供サービスの向上
 - 吉野・五條病院における南奈良総合医療センターと同様のリハビリの提供
 - 市町村広報誌への掲載、出前講座などによる広報活動の強化
- ◆ 接遇の向上
 - 若手職員を対象とした接遇研修の実施

5 人材の育成

<医師>

- ◆ 研修医等の受入
 - 臨床研修(基幹型3名、協力型1名)、地域医療研修(17名)、専門医機構専攻医(2名)、奈良県立医科大学生クリクラ実習生(17名)

<看護師>

- ◆ クリティカルケア認定看護師教育(特定行為研修含む)の育成 1名
- ◆ 訪問看護ステーションスタッフの人材育成
 - スキルアップのための研修の実施
 - スタッフとして活躍できる看護師の養成

<その他医療者>

- ◆ 医療職学生の実習受入
 - リハビリテーション部、薬剤部のほか、放射線部も受入開始

<地域人材の育成>

- ◆ 地域の医療、介護職員への研修の実施
- ◆ 大淀高校との連携
 - インターシップの受入、大淀高校への出前授業など

<看護専門学校>

- ◆ へき地教育の充実
 - へき地での生活実態を知るためのへき地訪問など

6 地域包括ケアシステム構築に向けた医療と介護の連携 ～南和モデル～

一次支援の強化と二重・三重のサポート体制

介護予防・予防医療への支援

- ◆ 市町村の実施する一次支援(介護予防、健康づくり、地域の見守り)に対するサポート
 - 市町村等が実施する介護予防、健康づくり、地域の見守りの取組の課題を調査し、医療面でのサポート体制を検討
 - サポートに関わる人材の確保・養成
- ◆ 地域包括支援センターに対するサポート
 - 地域包括支援センターの職員を対象とする医療面での研修の実施
- ◆ 奈良県版ラヒホイタヤ養成の検討
 - 奈良県による奈良県版ラヒホイタヤ制度検討に合わせ、企業団としてOB看護師等による介護予防、予防医療への支援の取組を検討
- ◆ 市町村の介護予防事業や保健事業などの来院患者等への紹介、啓発
 - 企業団3病院での市町村事業の案内掲示やパンフレット配布
 - 企業団広報誌「はぴねすだより」での市町村事業の紹介

訪問看護・在宅医療の取組

- ◆ 訪問看護ステーションの開設
 - 今年度中に南奈良総合医療センターに訪問看護ステーションを開設
 - 訪問看護ステーションのスタッフのスキルアップのための研修の実施
 - 訪問看護ステーションのスタッフとして活躍できる看護師の養成
- ◆ 在宅医療の強化
 - 重症不安定患者への訪問診療・看護の介入強化

へき地診療所の看護力強化への支援

- へき地診療所の看護師不足に対する具体的ニーズの調査
- へき地診療所による訪問看護実施の課題の調査
- へき地医療支援看護師の派遣・採用形態の検討
- へき地診療所看護師のスキルアップ研修等の実施

地域の医療、訪問看護に対する支援

- 地域の訪問看護ステーションとの連携組織の立ち上げ
- 地域の医療、介護職員への研修、意見交換の実施
- より効果的なへき地への専門診療提供の検討

中期計画＜第1期＞のポイント（計画期間：2017（平成29）年度～2020（令和2）年度）

- ◇ 地域医療構想を踏まえた企業団3病院における医療提供体制充実に向けた取り組み
- ◇ 再編直後における病院経営の安定と効率化に向けた数値目標の設定

現計画との収支比較【南和広域医療企業団（3病院・看護専門学校）】

単位：百万円

項 目	2017(H29)年度			2018(H30)年度			2019(R元)年度			
	計画値	実績値	増減	計画値	実績値	増減	計画値	実績値	増減	
収 入	1. 医業収益	8,088	7,465	△ 623	8,620	8,075	△ 545	8,757	8,045	△ 712
	(1) 入院収益	4,788	4,584	△ 204	5,189	4,961	△ 228	5,245	5,256	11
	(2) 外来収益	2,279	1,999	△ 280	2,341	2,119	△ 222	2,422	2,131	△ 291
	(3) その他	1,021	882	△ 139	1,090	995	△ 95	1,090	658	△ 432
	2. 医業外収益	1,449	1,495	46	1,499	1,666	167	1,497	2,030	533
	(1) 他会計負担金・補助金	133	138	5	138	204	66	136	529	393
	(2) 国（県）補助金	5	17	12	5	13	8	5	29	24
	(3) 長期前受金戻入 a	1,181	1,181	0	1,228	1,270	42	1,228	1,293	65
	(4) その他	130	159	29	128	179	51	128	179	51
	経常収益 (A)	9,537	8,960	△ 577	10,119	9,741	△ 378	10,254	10,075	△ 179
支 出	1. 医業費用	9,448	9,025	△ 423	9,836	9,591	△ 245	9,955	9,804	△ 151
	(1) 職員給与費	4,398	4,192	△ 206	4,657	4,738	81	4,718	4,813	95
	(2) 材料費	1,497	1,477	△ 20	1,566	1,563	△ 3	1,590	1,507	△ 83
	(3) 経費	2,153	1,962	△ 191	2,211	1,902	△ 309	2,246	2,033	△ 213
	(4) 減価償却費 b	1,381	1,381	0	1,380	1,372	△ 8	1,380	1,433	53
	(5) その他	19	13	△ 6	21	16	△ 5	21	18	△ 3
	2. 医業外費用	378	204	△ 174	382	223	△ 159	382	229	△ 153
	(1) 支払利息	42	30	△ 12	50	30	△ 20	50	29	△ 21
	(2) その他	336	174	△ 162	332	193	△ 139	332	200	△ 132
	経常費用 (B)	9,826	9,229	△ 597	10,218	9,814	△ 404	10,337	10,033	△ 304
経常損益 (A) - (B) (C)	△ 289	△ 269	20	△ 98	△ 73	25	△ 83	42	125	
特別 損益	1. 特別利益 (D)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2. 特別損失 (E)	10	4	△ 6	14	8	△ 6	14	1	△ 13
	特別損益 (D) - (E) (F)	△ 10	△ 4	6	△ 14	△ 8	6	△ 14	△ 1	13
純損益 (C) + (F) (G)	△ 299	△ 273	26	△ 112	△ 81	31	△ 97	41	138	

○入院収益の減
南奈良総合医療センターの入院単価、五條病院の患者数及び入院単価が計画値を下回ったため

○外来収益の減
3病院とも患者数が計画値を下回ったため

○その他（医業収益）の減
退職給与費に係る補助金が計画値を下回ったため

○職員給与費の減
法定福利費、退職給与費等の減

○経費の減
委託費、光熱水費等の減

○医業外費用の減
計画策定時の長期前払消費税償却費の計上方法を変更したため

○経常費用の減が、経常収益の減より大きかったことから、純損益は計画値を上回った。

○入院収益の減
五條病院の療養病棟がフルオープンでなかったことにより、患者数が計画値を下回ったため

○外来収益の減
3病院とも患者数が計画値を下回ったため

○経費の減
委託費、光熱水費等の減

○経常費用の減が、経常収益の減より大きかったことから、純損益は計画値を上回った。

○外来収益の減
吉野病院において、院外処方を導入したことにより、外来単価が計画値より大幅に下回り、五條病院の患者数も計画値を下回ったため

○その他（医業収益）の減及び医業外収益の増
医業収益の他会計負担金の一部を医業外収益の他会計負担金へ科目変更したため

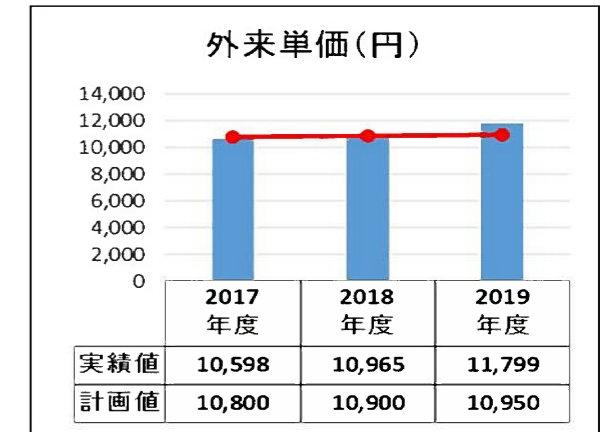
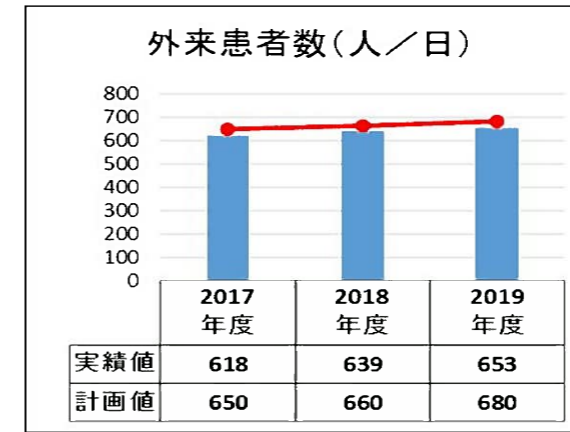
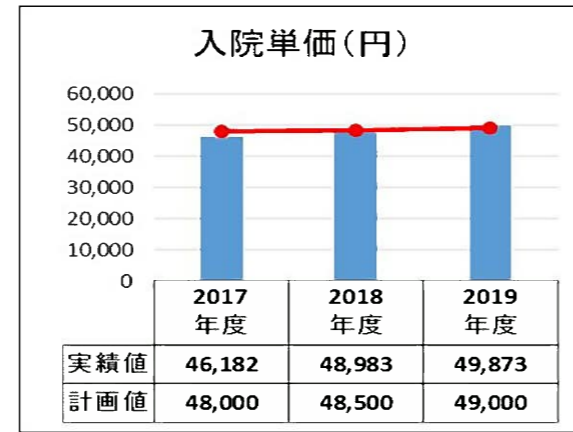
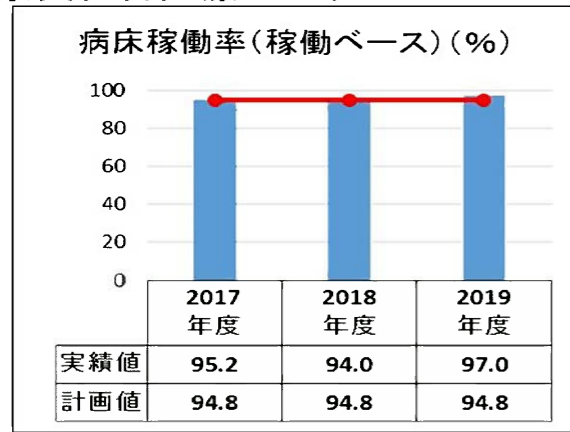
○経費の減
委託費、光熱水費等の減

○経常費用の減が、経常収益の減より大きかったことから、純損益は計画値を下回り、黒字となった。

稼働状況（計画値との比較）

【  実績値  計画値 】

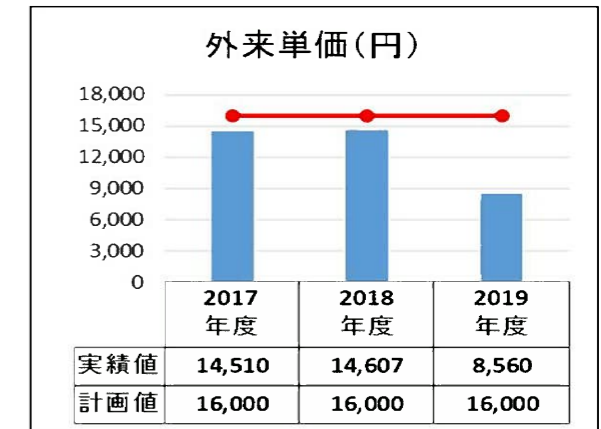
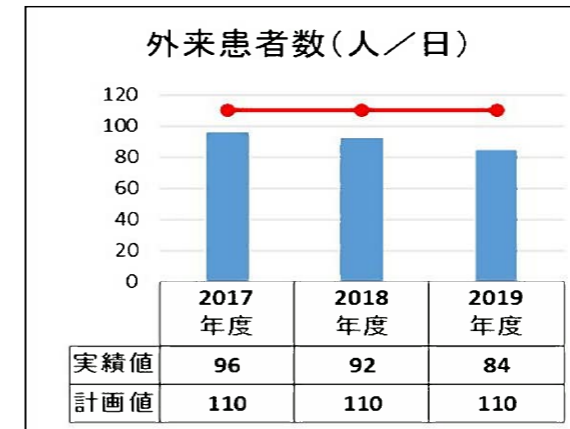
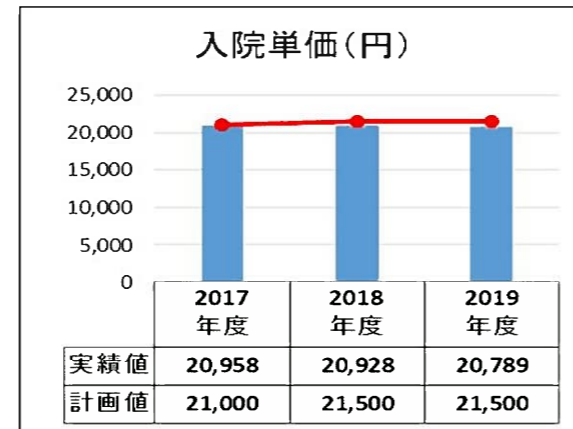
南奈良総合医療センター



- 病床稼働率は、2018年度以外は計画値を上回り、高稼働率を維持している。
- 入院単価は、年々向上し、2018・2019年度の計画値を上回った。

- 外来患者数は、年々増加しているが、各年度とも計画値を下回った。
- 外来単価は、年々向上し、2018・2019年度の計画値を上回った。

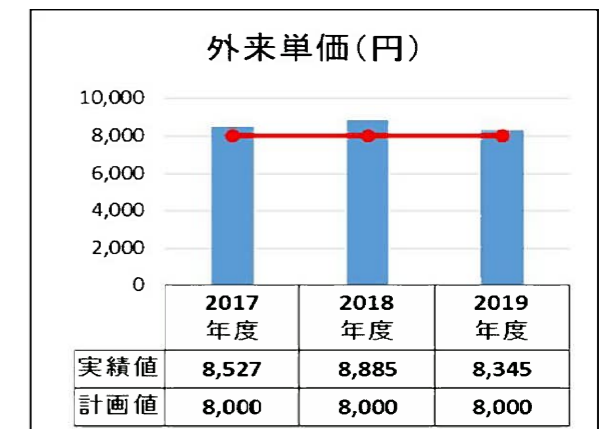
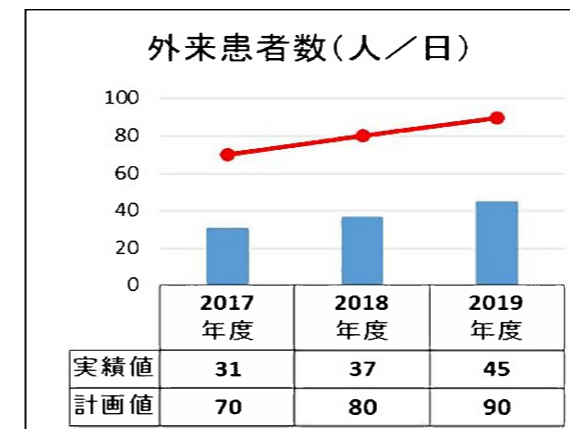
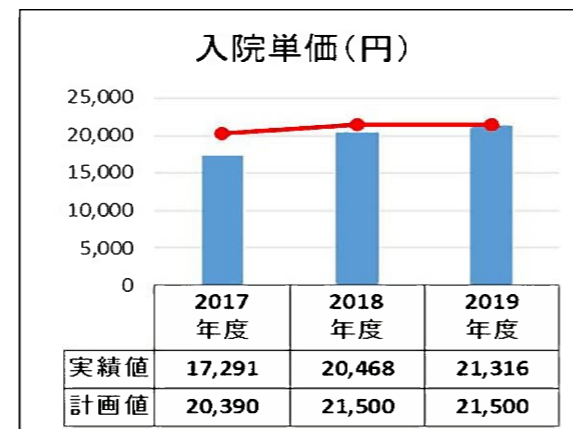
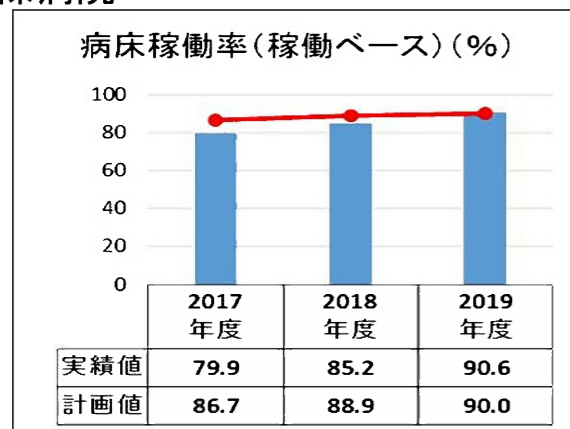
吉野病院



- 病床稼働率は、各年度とも計画値を下回り、80%後半を推移している。
- 入院単価は、各年度とも計画値を下回った。

- 外来患者数は、年々減少し、各年度とも計画値を下回った。
- 外来単価は、2019年度に院外処方を導入したことにより、大幅に計画値を下回った。

五條病院



- 病床稼働率は、年々向上し、2019年度には計画値を上回った。
- 入院単価は、年々向上しているが、各年度とも計画値を下回った。

- 外来患者数は、年々増加しているが、各年度とも計画値を大きく下回った。
- 外来単価は、各年度とも計画値を上回った。

4疾病3事業等の医療提供体制充実に向けた主な取組実績

◇ 救急医療

- 南和周辺地区輪番制に参加、受入継続(年間7,300人以上を受入)
- 救急車搬送の受入数は、再編前より大幅に増え、1日あたり約10件を受入
南和地域管内では、総搬送数の約3分の2を受入
 - ・救急車受入患者数 (2017) 3,677人 (2018) 3,703人 (2019) 3,500人
- 2018年3月に奈良県ドクターヘリが運航を開始、年間150人前後の患者を受入
 - ・ドクターヘリ受入患者数 (2017) 151人 (2018) 158人 (2019) 145人

◇ 脳卒中

- 脳卒中の救急患者に対し、緊急手術や一次脳卒中センターでの血栓溶解療法(t-PA投与)などによる対応を継続

◇ 急性心筋梗塞

- 緊急カテーテル治療などについては、胸痛搬送ルールに基づいて、県立医科大学附属病院と緊密に連携
- 心臓リハビリチーム(循環器サポートチーム)を立ち上げ、心臓リハビリを実施継続

◇ がん

- がん診療における内視鏡的・外科的手術及び化学療法の充実
- 南奈良総合医療センターが地域がん診療病院に指定(2017年4月)
- 南奈良総合医療センターにがん相談支援センターを設置(2017年4月)

◇ 糖尿病

- 多職種連携による糖尿病合併症(腎症、網膜症、神経障害、心臓脳血管疾患、足病変、歯周病)の重症化の予防
- フットケア外来の充実

◇ 周産期医療

- 県立医科大学附属病院と連携した周産期医療体制の維持継続

◇ 小児救急医療

- 中南和地区の小児二次輪番に参加(月3~4日)、受入継続(年間400人以上を受入)
- 夕診(17時~19時)の診療継続(年間1,500人以上を診療)

◇ 在宅医療

- 在宅療養支援病院の取得
 - ・南奈良総合医療センター
在宅療養後方支援病院(2017年3月) → 在宅療養支援病院(2019年6月)
 - ・吉野病院(2016年10月) 五條病院(2018年5月)
- 訪問診療・看護の充実
- 南奈良総合医療センターに訪問看護ステーションを設置予定(2021年1月予定)

病院経営の安定と効率化における目標達成に向けた取組実績

◇ 南奈良総合医療センター

- 地域医療支援病院の指定
 - ・2017年11月に承認され、紹介患者数は1月あたり600人台で推移
 - ・DPC係数が上がり、入院診療単価が向上
- 平均在院日数の短縮
 - ・計画値(13日)どおりに短縮
 - ・新入院患者が増加 (2017) 5,460人 (2018) 5,593人 (2019) 5,847人
- 病床の高稼働率を維持
 - ・病床稼働率 94.0% ~ 97.0%
- 手術件数が増加傾向
 - ・手術件数 (2017) 161件/月 (2018) 156件/月 (2019) 168件/月

◇ 吉野病院

- 地域包括ケア病床の増床
 - ・2016年11月より15床で運用を開始

◇ 五條病院

- 医療療養病床の充実
 - ・2018年4月より20床で運用を開始し、2018年11月からは26床で運用
- 一般病床看護基準13:1取得
 - ・2018年6月に取得し、入院診療単価が向上
- 地域包括ケア病床基準取得
 - ・2018年6月より14床で運用を開始

次期中期計画の骨子

- ◇ 企業団3病院の連携による効果的な医療の提供
- ◇ 持続可能な安定した経営基盤の確立
- ◇ 災害医療、感染症などへの積極的な対応
- ◇ 南和地域における地域包括ケアシステムの構築に向けて、市町村の取り組みを支援
- ◇ 企業団職員、地域の医療・介護職員などの人材の育成

～南和モデル～ 「南和地域の在宅医療・訪問看護体制の強化」

【企業団の取組】

- 在宅医療支援センターによる医療ニーズが高い患者への訪問診療
- 南奈良訪問看護ステーションの設置
- 吉野病院、五條病院による訪問診療
- 吉野病院、五條病院のみなし訪問看護と南奈良訪問看護ステーションの一体運用による訪問看護体制の強化

【ICTの活用】

- 地域の訪問看護ステーション、へき地診療所等とのICTを活用した医療・介護情報共有システムの強化

【地域の訪問看護ステーションとの協働・補完】

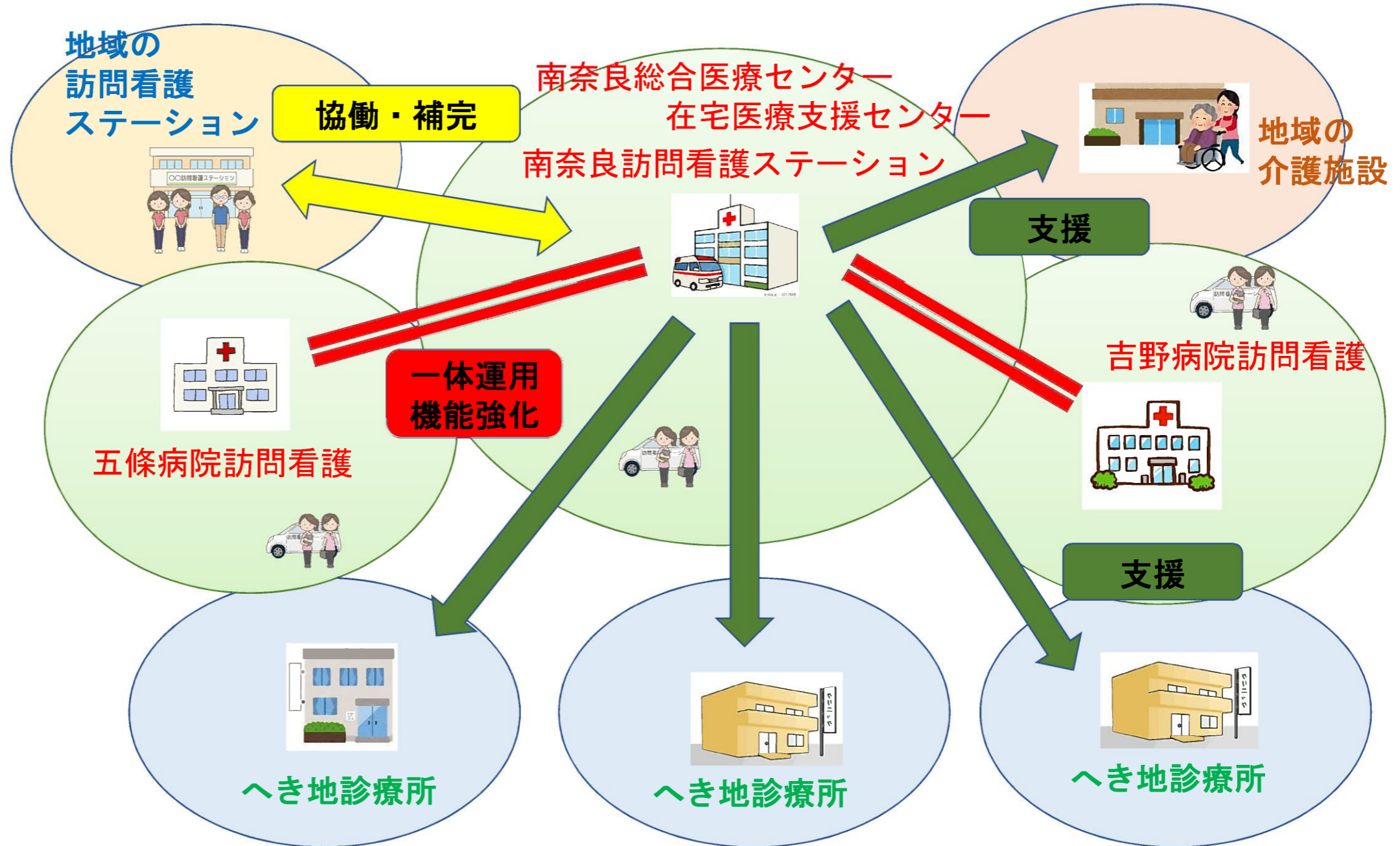
- 地域の訪問看護ステーションとの連携強化
- 医療ニーズが高い患者への対応支援、相談などを通じた協働・補完
- 地域で活躍できる看護師などの教育と研修

【へき地診療所への支援】

- 企業団看護師の派遣による看護師不在時の支援
- 研修等の実施による看護師のスキルアップ支援

【地域の介護施設への支援】

- 医療ニーズが高い利用者への訪問診療等による支援
- 介護職員に対する研修、相談対応など人材育成の支援



◆南奈良訪問看護ステーション

- 〈基本理念〉 「地域で生きる」を支える
 南奈良訪問看護ステーションは、南奈良総合医療センターと連携し、信頼と思いやりのある看護ケアを提供し、住み慣れた地域で暮らし続けられるようにその人が望む生活を支援します。
 また、南和地域の訪問看護を担う人材の育成に参画し、南和地域全体の訪問看護の充実に貢献します。
- 〈設置時期〉 令和3年1月（令和4年度に機能強化型訪問看護ステーションへの移行を目標）
- 〈対象地域〉 当面は五條市、吉野町、大淀町、下市町及びその周辺地域
 吉野病院、五條病院の訪問看護機能を強化し、対象地域を拡大
 へき地診療所の訪問看護との連携により南和地域全体の訪問看護のネットワークの構築を目指す
- 〈体制〉 センター長（＝管理者） スタッフ 看護師2名（令和3年度に4名に増員）

【南奈良訪問看護ステーション収支見込み】

（金額：千円）

	令和2年度			令和3年度
	4月～12月	1月～3月	計	
訪問看護対象延べ人数	131	96	227	692
目標新規対象人数	29	9	38	48
訪問延べ回数	789	586	1,375	4,221
収入見込み	5,321	5,420	10,741	38,463
支出見込み	10,128	3,376	13,504	33,760
収支見込み	▲ 4,807	2,044	▲ 2,763	4,703

南奈良総合医療センター

吉野病院  五條病院



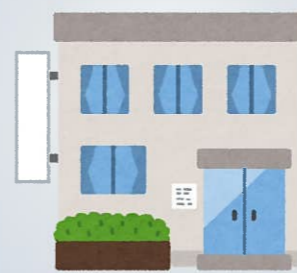
医療専門職

- ・理学療法士
- ・歯科衛生士
- ・栄養士 等

派遣

市 町 村

医療専門職の派遣により市町村の
介護予防・健康づくり・生活支援事業をサポート



- 地域の介護予防健康づくり事業との連携
- 市町村職員のスキルアップのための研修を実施
- 医療面でのアドバイス、気軽に相談できる機会の確保

派遣の対象事業例

派遣効果

派遣の対象事業例	派遣効果
通所型事業への支援 市町村、社会福祉協議会等が実施しているデイサービス事業に、医療専門職が定期的に訪問。看護職や介護士に、対象者の身体機能に応じたプログラムの進め方の指導を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域での自立支援に資する取組を促す。 ・市町村職員のスキルアップ。 ・市町村職員と医療専門職の連携強化。
訪問型事業への支援 市町村、社会福祉協議会等が実施している訪問介護事業において、家族、現地スタッフに自宅の生活環境、生活動作等の撮影を依頼し、その動画をもとに医療専門職が評価、スタッフへの指導を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・自主活動内容の充実と継続した地域活動の場を展開。
住民自主活動事業への支援 地域住民の自主活動の場であるサロンや体操教室等に医療専門職が訪問し、助言、指導を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域におけるケアマネジメント力の向上。
自立支援事業への支援 医療専門職が地域ケア会議等に定期的に参加し、情報の共有、アドバイスを行う。	

【派遣の事業スキーム】

派遣先：市町村の役場、診療所、公共施設等
 事業頻度：当面月1回程度の訪問
 費用負担：派遣による実費等の負担（検討中）
 財 源：介護予防事業の活用を想定（検討中）

【運用に向けたスケジュール】

令和2年度：モデル市町村での試行、効果検証、事業評価
 令和3年度：要望のある市町村から本格実施